

ワンネット通信

2022年12月24日(土)

認定NPO法人
ワンストップリーガルネット



第109号

発行責任者 中村 誠治

電話 080-3962-7126

FAX 0942-80-6337

E-mail

onenet@onestop-legalnet.org

間葉系幹細胞再生治療の普及促進へ

メディカルアテンダー 於保信高

人類の偉大な進歩、新たな発見や発明、それは非常識が常識に変わる瞬間、これまで不可能であったことが可能となる瞬間でもあります。

これらは、医療の世界においても同様で、脊髄損傷や脳梗塞など、怪我や病気の後遺症、慢性疾患や難病が解決するという、これまで諦めていたことが可能となる方法が見つかる瞬間と云えるかも知れません。

2012年ノーベル生理学・医学賞を京都大学の山中伸弥教授がips細胞の研究で受賞されました。また、2014年11月には、世界で唯一日本では、「再生医療等安全性確保法」が施行され、幹細胞再生医療は、「第2種再生医療等」として規定され、安全性と有効性が担保されました。これらを契機に、幹細胞再生治療が注目・普及されるようになりました。

ご紹介する「間葉系幹細胞再生治療」とは、病気、事故や加齢によって本来の機能を果たせなくなった細胞や組織を、修復・再生できる能力をもった「幹細胞」を用いて行われる再生治療法です。

人間の赤ちゃんが、あっという間に大きく成長するのは大量の幹細胞を持っているからです。大量の幹細胞を使って、血管や骨、臓器などの器官を大きくしたり、修復したりしながら成長・歳をとります。

しかし幹細胞の数も年齢に従って激減します。新生児が持っている幹細胞の数を100とすると、10代後半で1/10、80代ではその1/200、0.5%しか残っていないと言われています。子供のころ、切り傷や骨折などしても、短期間で治っていたのは、この幹細胞の働きによるものです。

間葉系幹細胞再生治療、具体的には、自身の体に残っている幹細胞を、へそ周辺の脂肪組織から採取します。この幹細胞を約1億2千万個程度まで培養して、再び静脈点滴により体内に戻します。大量の幹細胞を投与することで、再び修復・再生能力を取り戻そうという、自分の細胞のチカラによる治療法です。

久留米市は、昔から医者・医療のまちとも云われています。しかし、これまで間葉系幹細胞再生治療においては、許認可医療機関が一か所あるのみで、臨床数も少ないと聞いています。

この久留米市に、日本で再生医療の普及を推進されてきた方の働きかけにより、既存する再生医療クリニック・細胞培養加工施設で培われた最新の再生医療技術をさらに進化させて、2023年2月、久留米市役所近くに再生医療の専門クリニック、細胞培養加工施設が開院・開設の予定です。久留米市を医療のまちから、先進再生医療の中心拠点・都市として、国内・世界へと拡大・発信していきたいとの構想です。

私たちワンネット活動の一環としても、これまで諦めてあった疾患の克服やアンチエイジングなど、市民の方々へ夢と希望をお届け出来ましたらと願っています。

■ 令和4年12月の「暮らしの無料相談会」報告

開催日 令和4年12月14日(水)

場所 市民活動センターみんくる

受付担当 寺田会員、野田会員

参加相談員 西江公証人と19人のワンネット会員(大内田、太田、於保、亀井、古賀隆広、古賀信夫、塩澄、杉野琢美、杉野直志、寺田、豊福、中村圭一、野田、橋口、平木、平野、松枝、森、森山 ※敬称略)

相談件数 43件 相談者数42名、継続案件2件

相談内容 遺言相続11件、成年後見1件、離婚2件、年金2件、不動産7件、税12件、近隣問題1件、債権債務1件、契約3件、その他3件(FX詐欺、障がい者控除、子との別居における扶養)

次回、令和5年1月の「暮らしの無料相談会」について

開催予定日 令和5年1月11日(水)

受付担当 橋口会員、中村圭一会員

■ 令和4年12月の「公証業務相談」報告

午後1時00分より、久留米公証役場の福嶋斉公証人と古賀隆広会員が久留米市役所6階にて公証業務相談を行いました。相談件数は1件でした。

次回、令和5年1月の「公証業務相談」について

開催予定日 令和5年1月18日(水)

担 当 古賀信夫会員

■ 今後の「暮らしの無料相談会」の受付担当をお知らせします。よろしくお願ひします。

相談会開催日：毎月第2水曜日

相談会日	受付担当	相談会日	受付担当
令和5年1月11日(水)	橋口・中村圭一	令和5年2月8日(水)	原・太田
令和5年3月8日(水)	平野・田端	令和5年4月12日(水)	平木・野田
令和5年5月10日(水)	島・藤島	令和5年6月14日(水)	松枝・中村誠治
令和5年7月12日(水)	森・宮地		

(敬称略)

■ 今後の「公証業務相談」の担当をお知らせします。よろしくお願ひします。

相談日	担当	相談日	担当
令和5年1月18日(水)	古賀信夫	令和5年2月15日(水)	坂井
令和5年3月15日(水)	塩澄		

(敬称略)

■ 令和4年度第2回理事会の報告

令和4年12月14日(水)に開催された理事会で以下のとおり決定致しましたので、ご報告致します。

1. 主たる事務所を移転する

(旧) 福岡県久留米市東櫛原町 1313 番地 2

(新) 福岡県久留米市中央町 33 番地 10

2. 理事、監事等に、名刺を作成・配布した

追加で、暮らしの無料相談会、相談員用の名刺を作成する

3. パンフレット（3つ折り）を（カラー・印刷1万部）作成する
4. ホームページを改修する（年内着手予定、期間未定）

■ 第18回在住外国人によるパネルディスカッションのご報告

ワンネット主催の「第18回在住外国人によるパネルディスカッション」が令和4年12月3日（土）14時よりえーるピア久留米視聴覚ホールで開催されました。

「未来の宝 子どもの教育」をテーマに、在学中の子どもがいるご家族をパネリストに迎えて、学校教育の現状と問題点を話し合いました。

参加総数は58名(パネリスト、司会、コーディネーター、来賓15名を含む)でした。パネルディスカッションの終了後にはご参加いただいた方にアンケートをいただきました。以下、一部を抜粋して掲載します。

1. 今日の企画のご感想をお聞かせください。

- | | |
|----------|----|
| ① よかった | 27 |
| ② 普通 | 0 |
| ③ よくなかった | 0 |
| ④ そのほか | 1 |

(テーマにそったディスカッションが行えたかは疑問です。)

2. この催しを継続したほうがよいと思いますか。

- | | |
|-----------------|----|
| ① 継続してほしい | 22 |
| ② 内容を変えて実施して欲しい | 6 |
| ③ 継続の必要はない | 0 |

3. この催しをどのようなメディアで知りましたか。

- | | |
|------------|----|
| ① 知人または人伝え | 21 |
| ② 新聞 | 0 |
| ③ チラシ | 4 |
| ④ その他 | 3 |

(久留米市ホームページ、行政書士会案内、業務上)

4. その他、自由にご意見を記入してください。

・聴衆をもっと増やしたら・・・と思うが。

- ・異文化をルーツとした日本在住の方、特にファミリーとしてのご意見や体験を聞くことは、日本のコミュニティのあり方を考える重要な糧になるものだと思います。大人の意見、子供の意見を合わせてお聞かせいただいた機会に感謝申し上げます。
- ・あたり前だと思っていた日本の教育があたり前でないことに気づかされました。ありがとうございました。
- ・題名に対して、反対意見も持っている方もいれば良かったと思いました。全体で大変良かったです。
- ・様々な国と日本の教育の違い、日本に来て困ったことを知ることができ、大変勉強になりました。
- ・久留米市だけでなく、市教育委員会にも後援を依頼し、教員の方々にも参加を促してはどうでしょうか?ありがとうございました。
- ・日本の学校での生活の現状以上に、各国の教育事情の違い(言語の位置づけ、制服、教育システムなど)を知ることができ、日本人がそれを理解する必要があると思いました。
- ・一般の方の声を聞くのは大変重要だが、識者も交えたディスカッションが必要。明日につながる討論が聞きたかった。
- ・参加者が少なくて驚いた。
- ・県立の定時制高校に勤務しておりますが、日本に移住して1年くらいで、日本語が不自由なまま入学して来る生徒がほぼ毎年のようにいます。授業についていけないのが実情です。その生徒を抜いて、日本語教育を含む補充授業を行っていますが、職員も少なく、とても対応できません。どうしたら、よりよい解決に向かうのか?

次回のパネルディスカッションは、令和5年11月25日(土)の開催です。

■ 新聞掲載のお知らせ

令和4年12月6日の西日本新聞(朝刊)の1面に、当法人の大内田前理事長が理事長を務める一般社団法人「わの会」の記事が掲載されました。

アフガニスタンからの避難民を資金面で支援するために、九州大学がクラウドファンディングを呼びかけている記事の中で、九州大学から相談を受けた「わの会」が、今春、2家族を北海道と九州に入国させ、就職先の確保に尽力したことが紹介されています。

■ 会費納入のお願い

かねてより令和4年度の会費についてお願いしておりますが、未だ入金が確認できない会員の方がおられます。何かの手違いかとは存じますが、納入をされておられない会員の方は速やかにお支払いくださいますようお願い申し上げます。

次回「ワンネット通信」は令和5年1月28日（土）の発行を予定しています。
みなさまからのお気軽なご寄稿、ご意見・ご感想をお待ちしております。